

# わたむき自動車プロジェクト

町では、「住んでみたい、住み続けたいまち」となることをめざし、公共交通を再び活性化させるため、令和3年4月に「わたむき自動車プロジェクト」を始動しました。



必佐小学校での実証実験の様子

令和4年2月1日(火) から2月28日(月) にかけて、株式会社ダイフクと株式会社オーケーエム、必佐小学校の協力により、工業団地の通勤送迎と小学校の通学送迎を一体的に担う実証実験を実施しました。

また株式会社<sup>アグーフ</sup>Agooopとの共同により位置情報ビックデータを活用し、日野町の工業団地でのマイカー渋滞解消に向けた通勤ルートなどの調査を行っています。

## 公共交通



### 公共交通の4つのメリット

#### 健康に良い

電車やバスを使えば、歩く機会が増えて自家用車で移動する場合に比べ、1時間の移動に伴う消費カロリーが2倍以上になります。



#### 環境にやさしい

バスを利用すると、自家用車に比べて、1人が1kmを移動するときの二酸化炭素の排出量が半分になり、地球温暖化防止につながります。



#### 事故リスクを回避

公共交通を利用すると交通事故の加害者になることはありません。

また公共交通の利用者が増えると道路の交通量が減り渋滞の緩和、事故の減少につながります。

#### 家計にやさしい

自家用車の場合、燃料代、車検、保険料、高速料金など多くの経費が必要となりますが、公共交通は運賃のみです。



# 未来に公共交通を残すためには

## ●今は「他人ごと」でもいつかは「自分ごと」に

今年度を実施した住民アンケート(4,649人回答)の結果をみると、町営バスの認知度は96%と高いものの、乗車したことがある方は23%と低い状況です。また、公共交通を利用しない理由としては、80%の方が「自家用車を利用できるため」と回答しています。

「今は、自分で車を運転できるから、大丈夫」と思っている、いつまで運転が続けられるかわかりません。地域から公共交通がなくなると、自分が高齢などにより運転できなくなったとき、買い物や通院などの外出時の移動に困ってしまいます。また子どもや孫がバスや鉄道で通学しているなどの状況を考えると「他人ごと」ではなく「自分ごと」に思いませんか。

## ●公共交通を守るためには、まずは「使ってみること」

将来、自分が公共交通を利用したいと思ったときに利用できるようにするには、今の公共交通を持続可能なものにしなければなりません。

公共交通を守るために、私達ができる第一歩は、公共交通の現状と課題を認識すること、そして1回でも多く公共交通を利用することです。



# みんなで守ろう

## 新型コロナウイルス 感染防止対策

交通事業者は、皆さんが安心して公共交通を利用できるように、車内の消毒、換気、飛沫感染防止シートの設置、キャッシュレス機器の導入(近江鉄道、近江鉄道バス(日八線))などさまざまな取り組みをされています。

利用される方は、マスクの着用、大きな声での会話を控えて感染防止対策にご協力ください。



## バスの時刻や経路が スマホで検索できます

グーグル  
Googleマップで町内のバスの時刻や経路、運賃が検索できるようになりました。

簡単

バス停名がわからなくても出発地と目的地を入力すればルート案内ができます

確実

時刻表を調べなくてもバスの時刻が表示されます

便利

徒歩+バス+電車など複数の移動手段を組み合わせた検索ができます。